

# Hi-Bec Times

2021  
autumn  
winter

Washing Revolution of Japan! 日本にお洗濯革命! 株式会社サンワードのハイ・ベック通信!



## Column Special

- サステナブル・ファッション
- 「ガス変色」って知っていますか?
- すごいぞ! ウール。
- サンワードSDGsの取り組み

**サステナブル・ファッション**

近年、様々な分野でサステナブルやエシカルという環境に配慮した表現が使用されるようになり、ファッション業界でも洋服の製造過程や商品サイクルが改めて見直されています。環境省が今年発表したデータでは、日本国内で流通する洋服は年間35億着以上であり、1着の洋服を製造するために使用する水の量は2.3トン、排出される二酸化炭素は25.5kg(ペットボトル255本製造相当)という驚くべきものでした。ファストファッションという名のもとに大量生産大量消費されていく衣類の陰で、環境への大きな負担が存在していることも認識しなければなりません。さて、コロナ禍で変化したものの一つに、衣生活があります。日本女子大学のアンケート調査によれば、洗濯頻度が上昇したこと、マスクを洗濯して再利用するようになったこと、帰宅後すぐに着用していた洋服を洗濯するようになったこと等、全体の65%の人がコロナ禍によって衣生活に何らかの変化が生じたとのこと。コロナ禍が人々の生活に与えた影響は計り知れませんが、衣生活においてはこまめな洗濯によって洋服の再利用や廃棄の減少に繋がりが、結果的にファッション業界のサステナブル化を見直すきっかけになったとも言えるかもしれません。ハイベックはお洋服を清潔に保ち、ずっと新品のような状態で着続けて頂きたいという想いで開発されました。そして出来る限り排水を汚さない原料を配合する等、環境への負荷を減らすための改良を続けて参りました。環境を守るために新しいことを始めることも大切ですが、普段の生活において好きなお洋服を着ること、自宅でやさしくお洗濯すること、大切に長く着続けること。これこそがサステナブルの本質であり、ハイベックが目指し続けるものなのです。

## サンワードSDGsの取り組み

### SDGsとは?

「持続可能な開発目標」の意味で、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っている。



正しいお洗濯のためには良い商品だけでなくお洗濯の正しい知識を普及させることも重要な使命と考えており、発売当初から「お洗濯教室」を全国各地で開催し、また動画配信サイトYouTubeでもお洗濯教室動画を公開しております。専門店のドライクリーニングやおしゃれ着の基本の洗い方、衣類別の洗い方、そしてアイロンの掛け方まで、初心者の方から長年のご愛用者まで幅広いお客様にご活用頂けます。



ハイベックは40年の歴史の中でより良い商品をお客様に届けるべく、改良を続けております。配合しているドライ溶剤は、石油系から最高級の植物系にグレードアップさせることで環境にも手肌にもやさしくなり、さらに高い微生物分解性で自然への負担を軽減すべく進化してきました。また、すすぎ1回についても、時短になるのみならず、節水節電効果で環境に配慮した商品となっております。今後も人にも環境にもさらにやさしい商品の開発のため、研究を重ねてまいります。



新型コロナウイルスの影響を受けた方々に対して、自宅での生活を少しでも豊かにして頂きたいという想いから、洗濯洗剤とマスク等の衛生用品を寄贈させて頂きました。また、弊社の新分野となるスポーツ用品においても、2019年の世界女子ハンドボール選手権大会を始めとする様々な大会に商品を無償提供し、スポーツの普及振興のための活動を行っております。



プラスチックごみを少しでも減少させたいという想いから2000年に紙製の詰替容器を開発し、これまで20年以上に渡って製造販売を続けて参りました。紙製の詰替容器は廃棄する際の二酸化炭素の排出を減らすだけでなく、折り畳んだ状態で輸送できることや梱包・積載効率の向上により輸送に伴うエネルギーを減少させることができます。また、プラスチックボトルの容器についても、再生可能なバイオプラスチックを原料とした容器の開発を進めております。

●発行: **株式会社 サンワード** SINCE1981

本社 / 熊本県熊本市中央区上通町2-30  
東京事業所 / 東京都武蔵村山市榎2-84-5

お問い合わせはフリーダイヤル **0120-668689**

ハイ・ベックお客様相談室

◎オフィシャルホームページ <http://www.sunward.co.jp/> マイページにブログ更新中!

<取扱店>

文責は当社に有しておりますので、無断転載はご遠慮ください。尚、ご意見やご感想がございましたら、上記に記載のお客様相談室までお電話でお問い合わせ下さい。

# すごいぞ!ウール。

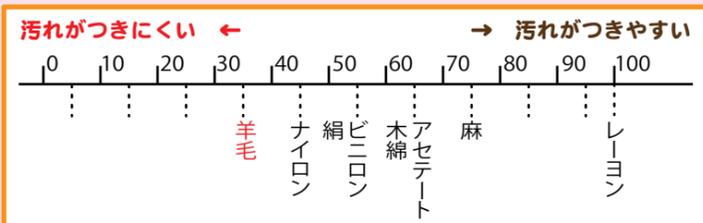
冬の素材を代表する「ウール」。保温性があり、様々な衣類に使用されるためデリケート素材の中でもお手入れをする機会が多い素材でもあります。素材の特性を知って、正しくお手入れを行いましょう。



繊維表面はスケールでうろこ状に覆われており、それが水分により開閉することで温度や湿度を調整することができる素材です。繊維1本1本にはクリンプといわれる縮れがあるため、紡績された状態で複雑に絡み合い、その中に空気を約60%含むことができます。この空気層が外気を遮断することで「冬暖かく、夏涼しく」身にまとうことができます。

## ウールは汚れが1番つきにくい繊維

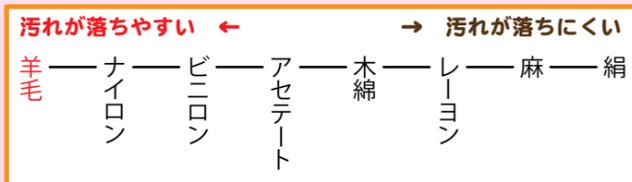
スケールが水や水溶性の汚れをはじくため、汚れがつきにくいという嬉しい一面も♪ その反面、内部の皮質は水分を吸収する働きがあります。水分含有率が高いため、静電気が発生しにくく、チリやホコリを寄せつけず衛生的に保てます。



アウター類はウール素材のものを選ぶようにするとお手入れも行いやすくなるね。



また、素材の中で最も「汚れが落ちやすい素材」でもあるため、お手入れがしやすくとても優秀な素材です。



頻繁にお洗濯できない学生服にウール素材が使用されていることに納得!!



## 他にも良いところがいっぱい

- 弾力性に優れ、シワになりにくく型崩れしにくい
- 染料を十分に吸収するため、染めやすく色ムラも発生しにくい
- 素材と染料の結合が強いため、色褪せしにくい

実はお洗濯しやすい素材でもあるんだね。鮮やかさが保てるのも嬉しい♪



## ウール素材のお洗濯のポイント



ウール素材の特徴でもある「スケール」は、濡れた状態で物理的な力が加わると絡み合い縮む性質があるため、ハイベックの優しいお洗濯が最適です。ハイベックはつけ置き5分で汚れを溶解。さらに、縮みの原因となる「押し洗い・揉み洗い・廻し洗い」も不要。お洗濯中の温度差も縮みの原因となりますので、お洗濯時は常温のお水を使用しましょう。

お湯	水
×	○

素材の特性を知ることによって、デリケート素材のお洗濯もハードルが低くなります。ウール素材は天然のエアコンと言われるほど、快適な素材です。ウール素材を活用して寒い季節を上手に過ごしましょう。



# 「ガス変色」って知っていますか？

クローゼットや衣装ケース、タンスに収納した衣類のケアはされていますか。きれいに洗って収納したから大丈夫と思っている方もいらっしゃると思いますが、保管中の衣類も注意しておかないと日常生活で発生するガスによって変色してしまう恐れがあります。

## ガス変色とは？

モノが燃焼したときに発生する酸化窒素ガスというガスによって衣類の染料が分解され、部分的に変色してしまう現象です。この酸化窒素ガスは排気ガスや家庭で使用するコンロ、ストーブ、湯沸かし器などを使うことによって発生、増加するため、クローゼット等に保管している衣類も注意が必要です。



## ⚠️ こんな衣類は要注意 !!

ガス変色は衣類の色や素材によっても起こりやすさが異なります。

### ガス変色しやすい色と素材

色	素材
ベージュや茶系の中間色	・綿 ・ナイロン ・アセテート ・トリアセテート



## ガス変色を防ぐために

ガス変色は染料が分解されているため、起きてしまったらお洗濯で元の状態に戻すことはできません。また、専門店でも戻すことは難しいとされています。そのため、変色を起こさないようしっかり予防しておくことが重要です。

## 大切な衣類をガス変色から守るための重要なポイント

### ●お洗濯

ガスは汗などの水分や汚れがあると吸着されやすくなり、その部分から変色を起こすことがあります。また、ほとんど着用していない衣類にもほこりや排気ガスなど目立たない汚れがついているため、お洗濯後はしっかり乾燥させてから収納してください。



### ●保管

風通しが悪く湿気が高い場所はガスが滞留してしまい、ガス変色が起こりやすい環境となります。クリーニング後、ビニール袋のまま保管している衣類は袋内でガスが滞留しやすくなるため、袋を外して保管してください。



### ●換気

保管時は湿気を避けることがポイントとなります。最近の建物は気密性が高くガスが滞留しやすくなっているため、湿気の少ない冬でも定期的に換気を行うようにしましょう。

